

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームこもれび

作成日 : 平成 25年 10月 1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくる必要がある。開設時、事業所独自に作成した理念を玄関に掲示している。12月に管理者が素案を作成したが、理念の形成にはいたっていない。	○地域密着型サービスの意義を踏まえた理念形成を行う。特に認知症高齢者が地域に根差した生活を皆で心がける。	○来年度に向けて、現在掲示してある理念を見直し新しく検討するための係をホーム内で立ち上げ配布・運営にあたる。	12ヶ月
2	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議は2か月に1度実施した。しかし、行政の欠席が2度あり、また家族・利用者参加も少ない。更なる取り組みが必要である。	○運営推進会議の方法について行政、家族、利用者の積極的な参加を行う。	○2か月に1度のイベント行事に合わせて、ホームへ来所しやすい環境を心がける。また、利用者とともに積極的に屋外へでかけ、地元住民との交流を図る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。